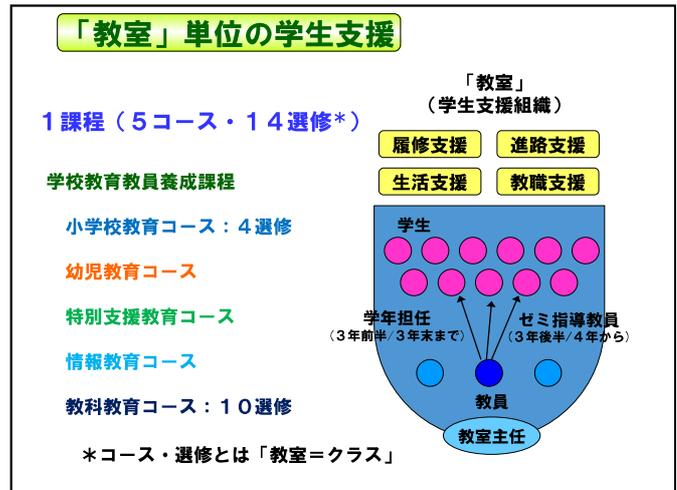


I. 教育学部における学生支援の概要

1. 「教室」単位の学生支援

教育学部では、学生の入学したコース・選修ごとに、数名の教員からなる「教室」という単位で学生支援を行っています。「教室」には「教室主任」となる教員がおかれ、「教室」での学生支援を統括しています。「教室」ごとに若干の違いはありますが、3年生前半までは「学年担任」が、3年生後半～4年生はゼミ指導教員が個々の学生の支援にあたっています。

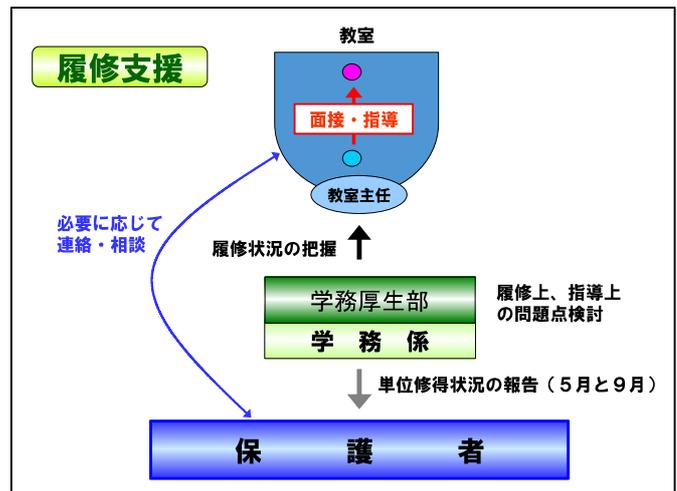
「教室」での学生支援は、主に「履修支援」「生活支援」「進路支援」の3領域にわたり、「教職支援」にも一部協力する統合的な支援体制をとっています。(図I-1)



図I-1. 「教室」単位の学生支援

2. 履修支援

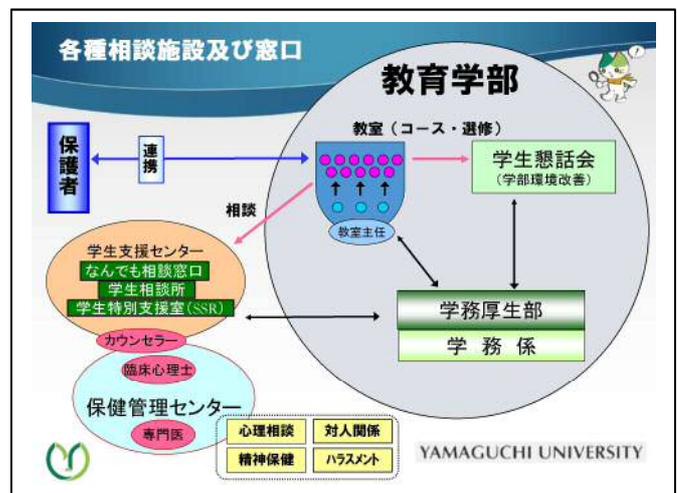
履修支援は、学務厚生部・学務係とも連携しながら、主に「教室」で行われます。単位修得の状況については、学生が「修学支援システム」で確認することができます。また保護者にも成績を送付（毎年、5月と9月を予定）するようにしています。(図I-2)



図I-2. 「履修支援」の支援体制

3. 生活支援

生活支援として、遅刻やマナーなど目に見える部分はその都度「教室」で対応できますが、近年増加する生活上のトラブル、事件・事故、心の問題などは、より詳しい専門的な対応が必要になる場合があります。山口大学の「学生支援センター」には「なんでも相談窓口」と専門の臨床心理士のおかれた「学生相談所」、「学生特別支援室」があり、学生の生活相談にあたっています。また、「保健管理センター」でも専門医と臨床心理士が相談に応じています。学部ではこれら全学の組織と連携をとりながら適切な対応をはかっています。(図I-3)



図I-3. 「生活支援」の支援体制

また一方、教育学部には、学生の視点・意見を学部に反映させる目的で立ち上げられた「学生懇話会」という組織があります。学生懇話会では、年に数回、学部長をはじめとした学部の代表と各コース・選修代表の学生たちとが話し合う場を持ち、学生たちの要望を汲み上げながら学部環境の改善につとめています。（図 I-4）

令和4年度には、「教育学部の教室に『消しカス入れ』を設置し、分担して消しカスを回収する環境美化活動」、「『キャンパスクリーン作戦』への参加呼びかけ」、「駐輪場の柱にアルファベットを表示」「傘立ての設置」、「空気入れの設置」等を行いました。

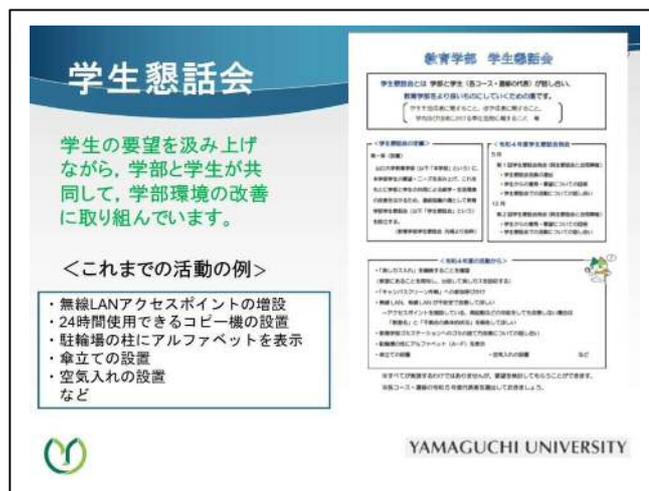


図 I-4. 教育学部の「学生懇話会」

4. 進路支援

進路支援は、就職支援部と「教室」が連携しながら、行っています。就職支援部は就職に関する情報・対策などを担当し、個々の学生の進路相談に関しては「教室」の指導教員があたっています。（図 I-5）

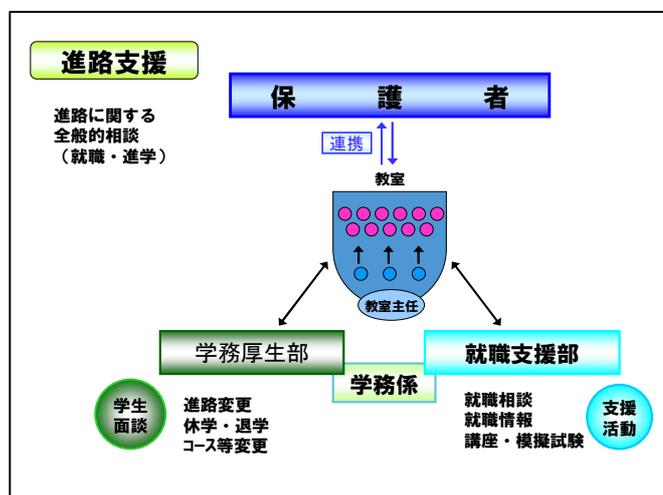


図 I-5. 「進路支援」の支援体制

5. 教職支援

教育実習だけでなく、さまざまな授業を通して地域の子どもに接する機会や学校教員と語り合う場を設け、教員としての実践的な力量を育む工夫をしています。平成27年度から、1年次の授業「教職キャリア形成」において、教職への意識付けや憧れが早い段階から高まるよう、「学校体験」を取り入れています。（図 I-6）

学部4年次に、さらにより実践的な指導力・展開力を高めたい場合には、教職大学院への進学之道もあります。教職大学院では、学校・地域の課題に即した実践研究を行い、それを大学教員が支援します。山口県のように、学部4年次に教員採用試験に合格した人が教職大学院に進学する場合、採用候補者名簿への登録期間が2年間延長される自治体もあります。

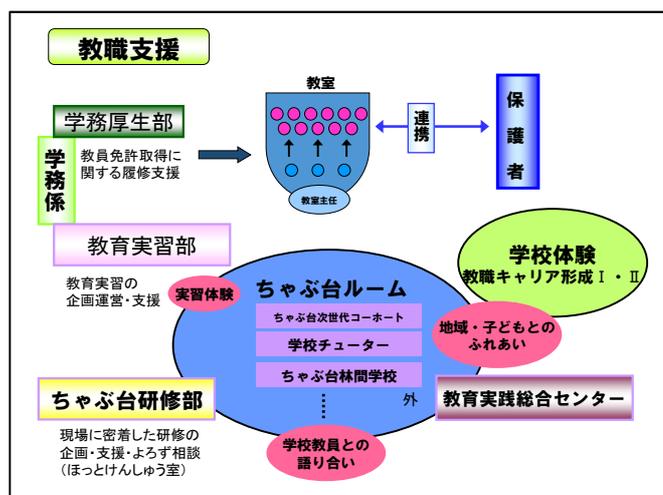


図 I-6. 「教職支援」の支援体制

Ⅱ. 教育システムの概要

1. 学期と単位

- 1) 2 学期制（前期 4～9 月と後期 10～3 月）
- 2) 所属するコース・選修ごとに卒業に必要な単位数は異なる。
- 3) 履修登録の上限：登録は半期 30 単位まで（予習・復習の時間を確保するため）。
成績優秀者ならびに 4 年生はこの上限を超えて履修することが可能。

2. 成績評価

1) 評価基準

成績評価は、学位授与方針及び教育課程方針を踏まえ、シラバス等で示された授業の到達目標の達成度によって、以下の表のとおり行われます。

評価	評点	評価基準
秀	100～90 点	授業の到達目標を十分に達成した上で、極めて優秀な成績を修めている。
優	89～80 点	授業の到達目標を十分に達成している。
良	79～70 点	授業の到達目標を達成している。
可	69～60 点	授業の到達目標を最低限達成している。
不可	59～0 点	授業の到達目標を達成していない。

2) Grade Point Average (GPA)

$$\text{GPA} = (4 \times \text{「秀」の修得単位数} + 3 \times \text{「優」の修得単位数} + 2 \times \text{「良」の修得単位数} + 1 \times \text{「可」の修得単位数}) \div \text{履修登録単位数}$$

「優秀学生表彰」や「成績優秀者」の順位付けでは、GPA を指標として用います。

3. 特別待遇学生（特待生）制度：授業料の半額免除

対象学生と人数：各学年半期 若干名

対象資格：学業成績が特に優れ、かつ人物優秀であると認められること

4. 共通教育（教養教育）

共通教育の授業科目は、以下のように分類され、大学生としての基礎知識または幅広い分野の教養を学習することにより、物事を捉える総合的な判断力と多角的な視野を養成していきます。

1 年目はこの共通教育が全体のなかで大きな部分を占めます。

- 1) 教養コア系列：山口大学の学生としての基本的な学習スキル、生活スキルを身につけるとともに、地域に貢献する意欲を育成します。
- 2) 英語系列：コミュニケーションツールとしての英語力（の基礎）を身につけます。
- 3) 一般教養系列：人文・社会・自然の各領域の基本的な考え方を習得し、現代社会を支え、改善していくための基本的姿勢を身につけます。
- 4) 専門基礎系列：専門分野を学ぶための基礎的知識・技能を習得します。
- 5) 教職基礎系列：教員としての基礎的教養を習得します。

5. 専門教育

教員免許の取得を卒業要件とします。学校教育に必要な基本的知識や技能を習得する一方、それぞれのコースや選修にかかわる分野で、より専門的な研究活動を行うことが求められます。

6. 教育実習の流れ

教育実習は段階的におこなわれ、前の段階をクリアすることによって次の実習に進むことができます。

1) 1年次

- (1) 教職オリエンテーション（1年次後期）
- (2) 介護等体験実習ガイダンス・資格試験（1年次2月）

2) 2年次

- (1) 参加実習（5月～）
事前指導の一環で、附属特別支援学校の授業やさまざまな行事に参加し、実際に子どもたちとの触れ合いを体験します。
- (2) 教育実習申請書提出（7月）
- (3) 参観実習（10月）
附属学校園で先輩（3年生）が行っている実習を参観、現場の雰囲気や体感・学習し、次年度の本格的な実習に備えます。
- (4) 介護等体験実習（6月～）
附属特別支援学校や県下の社会福祉施設において、7日間の実習を行います。

3) 3年次

基本実習（前期・後期に3～6週間）

附属学校園で実際に授業を実施したり、行事・学級経営に参加したりすることで、教員としての実践力やさまざまな資質を身に付けます。

◆注：基本実習参加要件

- ① 2年次後期修了までに共通教育科目と専門科目を合わせて64単位以上修得済みであること。
- ② 2年次後期修了までに教員免許に関する科目を20単位以上修得済みであること。

4) 4年次

委託実習（5～6月・2週間）

大学で学んだ力、基本実習で身につけた力をさらに高めるため、山口県内各地の公立学校園（委託校）で実習を行います。教育実習の総仕上げとなります。

Ⅲ. 取得可能な教員免許状

コース・選修	卒業要件(所属のコース修了)によって 取得できる免許状の種類	卒業要件の他に、履修の方法に よって取得可能な免許状の種類
小学校教育コース 小学校総合選修 教育学選修 心理学選修 国際理解教育選修	小学校教諭一種免許状	幼稚園教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
幼児教育コース	幼稚園教諭一種免許状	小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状
特別支援教育コース	(小学校基礎) 特別支援学校教諭一種免許状および 小学校教諭一種免許状	(小学校基礎) 幼稚園教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状
	(中学校基礎) 特別支援学校教諭一種免許状および 中学校教諭一種免許状	(中学校基礎) 高等学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(基礎免教科以外)
情報教育コース	(小学校基礎) 小学校教諭一種免許状	(小学校基礎) 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
	(高等学校・中学校基礎) 高等学校教諭一種免許状(情報)および 中学校教諭二種免許状(数学)	(高等学校・中学校基礎) 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状(情報以外)
教科教育コース 国語教育選修 社会科教育選修 数学教育選修 理科教育選修 音楽教育選修 美術教育選修 保健体育選修 技術教育選修 家政教育選修 英語教育選修	(小学校基礎) 小学校教諭一種免許状および 中学校教諭二種免許状(選修教科)	(小学校基礎) 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状
	(中学校基礎) 中学校教諭一種免許状(選修教科) および 高等学校教諭一種免許状(社会科教育、 技術教育を除く選修教科)	(中学校基礎) 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(選修教科以外) 高等学校教諭一種免許状(選修教科以外) 特別支援学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状

注1) 特別支援教育コース、教科教育コースについては、各コース開設の「小学校基礎」と「中学校基礎」のどちらかの履修方法を選択することになります。

注2) 情報教育コースについては、「小学校基礎」と「高等学校・中学校基礎」のどちらかの履修方法を選択することになります。

IV. 教育学部における学生国際交流（留学）

1. 交換留学の協定を結んでいる大学（山口大学または教育学部）

1) 山口大学

シェフィールド大学（イギリス）、セントラル・ランカシャー大学（イギリス）、エアランゲン・ニュルンベルク大学（ドイツ）、リジャイナ大学（カナダ）、オクラホマ大学（アメリカ）、公州大学校（韓国）、梨花女子大学校（韓国）、北京師範大学（中国）、国立中興大学（台湾）など

2) 教育学部

イヴァン・フランコ記念リヴィウ国立大学（ウクライナ）、復旦大学（中国）、淡江大学（台湾）

2. 交換留学の方法

- 各大学、年間2～3名程度。
- 学内で選考の上、山口大学が交換留学生として許可。
- 山口大学に授業料を支払い、留学先大学の授業料は免除。
- 単位互換可。

3. 交換留学の経費

渡航費、宿舍費、食費、その他生活費は個人負担。
費用は国や期間によって異なる。

4. 交換留学生の派遣実績（本学教育学部→協定大学）

- 1) H30年度 台湾：国立中興大学1名、淡江大学1名
- 2) R1年度 なし
- 3) R2年度 なし
- 4) R3年度 アメリカ：オクラホマ大学1名
- 5) R4年度 タイ：シーナカリンウィロート大学1名

5. 交換留学生の受入実績（協定大学→本学教育学部）

- 1) H30年度 中国：山東大学2名、浙江理工大学1名、湖州師範大学2名
台湾：淡江大学1名、静宜大学1名
韓国：昌原大学校1名
アメリカ：オクラホマ大学1名
タイ：シーナカリンウィーロット大学1名
- 2) R1年度 中国：貴州大学4名、浙江理工大学2名、湖州師範大学2名
台湾：静宜大学2名
韓国：韓国外国語大学校1名
タイ：シーナカリンウィロート大学2名、コンケン大学3名、
プリンスオブソクラー大学1名
イギリス：セントラル・ランカシャー大学3名
- 3) R2年度 タイ：シーナカリンウィロート大学4名、
- 4) R3年度 中国：貴州大学2名

- 台湾：静宜大学1名
タイ：シーナカリンウィロート大学2名
5) R4年度 中国：山東大学1名、貴州大学2名
台湾：開南大学1名、大葉大学1名
韓国：慶尚大学校3名
タイ：シーナカリンウィロート大学2名、プリンスオブソクラー大学1名

6. 山口大学留学生センターによる短期語学研修

夏休みや春休みを利用した、一ヶ月程度の語学研修プログラム。費用は自己負担で、参加先によって異なる。

〈令和1年度の研修先大学〉

- 英 語：リジャイナ大学（カナダ）、ニューカッスル大学（オーストラリア）、
ロンドン大学（イギリス）
中国語：北京師範大学（中国）
韓国語：韓国外国語大学校（韓国）

V. 就職支援

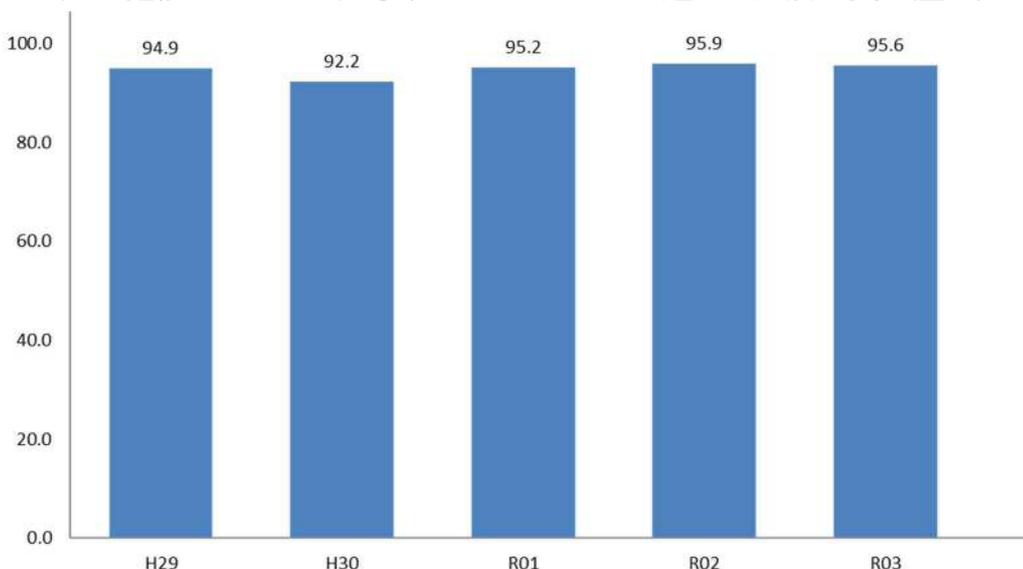
大学入学は、学生の皆さまにとっては、ある意味、4年後に教員となって教壇に立つためのスタートラインとなるものです。授業はもちろんのこと、教育実習や学校ボランティア等の経験も経て、教員となるための力を身につけ、また、自らどのような教員になりたいかを考え、4年後には、夢を実現して社会に踏み出していただけるよう、就職支援部・各教室一体となって、しっかりと支援してまいります。

1. 就職状況

1) 過去の5年間の就職状況

① 就職決定率の推移

就職決定率*の推移については、毎年90パーセントを超える実績です。(図1)

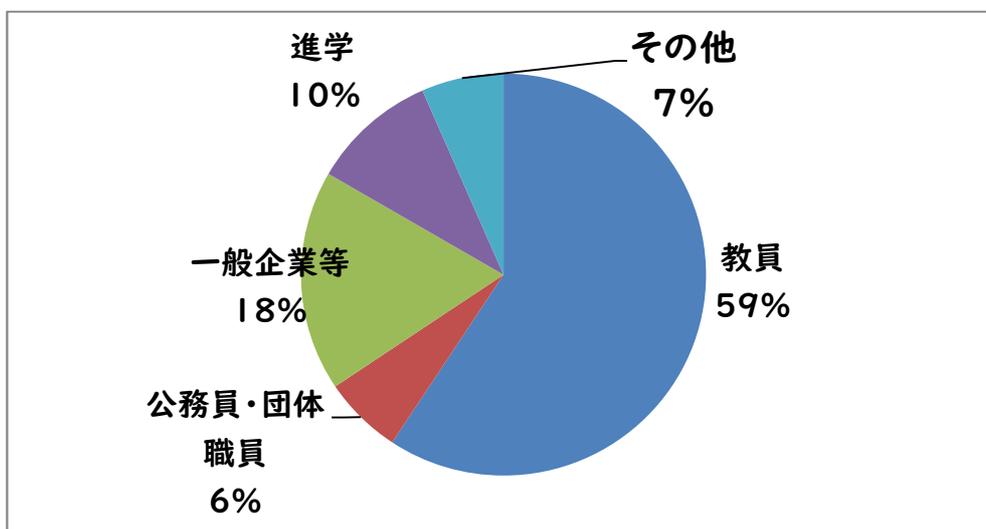


* 就職決定率 (%) = (教員+公務員・団体職員+一般企業等) / 就職希望者数 × 100

【図1 就職決定率の推移】

② 進路先

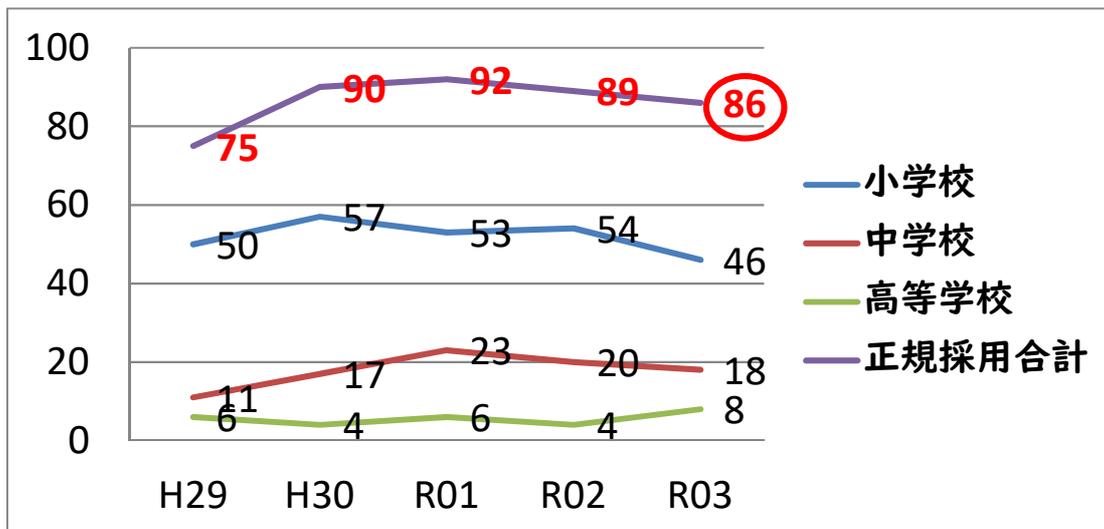
進路については、多くの卒業生が教員として活躍しておりますが、中には、公務員や企業の選択をする者、あるいは、大学院進学をする者もおります。(図2)



【図2 進路先 [数値は5年間(H29~R03)の平均値]】

③ 小学校・中学校・高校教員正規採用者数の推移

令和3年度は卒業生 193 人中、教員希望者は 120 人でした。教員となった人は 115 人で希望者の 95.8%、そのうち正規採用者は 86 人で 71.7%でした。



【図3 小学校・中学校・高校教員正規採用者数の推移】

2) 令和3年度卒業生のコース・選修別進路状況 (令和4年4月15日現在)

表1は、令和3年度卒業生のコース・選修別進路状況を示しています。

【表1 令和3年度卒業生のコース・選修別進路状況】

	進路先(人)										希望(人)					卒業者	就職決定率 (A+C+D)/J	進路決定率 (A+C+D+E+F+H)/P	教員正規採用率 B/K	企業就職率 D/M	教員希望率 K/P
	教員(臨採含む) A	(正規採用) B	(正採以外を含む) 公的法人 C	教員・公的法人以外 D	大学院進学 E	学部/専修学校等 F	受験準備就活中 G	その他 H	不明 I	就職 J	(教員希望) K	(公的法人) L	(教員・公的法人以外) M	進学 N	その他 O						
小学校コース	小学校総合	31	26		6	1			1	37	31		6	1	1	39	100.0%	100.0%	83.9%	100.0%	79.49%
	教育学	10	7			1				10	10			1		11	100.0%	100.0%	70.0%	—	90.91%
	心理学	1	1	1	4	4		1		7	2	1	4	4		11	85.7%	90.9%	50.0%	100.0%	18.18%
	国際理解教育	6	6	1	1	4				8	6	1	1	4		12	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.00%
	小学校コース合計	48	40	2	11	10	0	1	1	0	62	49	2	11	10	73	98.4%	98.6%	81.6%	100.0%	67.12%
幼児教育コース	6	6	2	2		1				10	6	2	2	1	11	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	54.55%	
特別支援教育コース	8	8	1							9	8	1			9	100.0%	100.0%	100.0%	—	88.89%	
情報教育コース	3	2		1	5		2			6	4	1	1	5	11	66.7%	81.8%	50.0%	100.0%	36.36%	
教科教育コース以外合計	65	56	5	14	15	1	3	1	0	87	67	6	14	16	104	96.6%	97.1%	83.6%	100.0%	64.42%	
教科教育コース	国語教育	7	6		2			1		10	8		2		10	90.0%	90.0%	75.0%	100.0%	80.00%	
	社会科教育	8	5	1		1				9	8	1		1	10	100.0%	100.0%	62.5%	—	80.00%	
	数学教育	4	1		2	3			1	6	4		2	3	1	10	100.0%	90.0%	25.0%	100.0%	40.00%
	理科教育	8	5			4			1	8	8			4	1	13	100.0%	92.3%	62.5%	—	61.54%
	音楽教育	3	2		2	1		1		5	3		2	2	7	100.0%	85.7%	66.7%	100.0%	42.86%	
	美術教育	4	3		2	1				6	4		2	1	7	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	57.14%	
	保健体育	5	4	2	1		1			8	5	2	1	1	9	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	55.56%	
	技術教育	5	1		3				1	8	5		3		9	100.0%	100.0%	20.0%	100.0%	55.56%	
	家政教育	3	3	2	1					6	3	2	1		6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.00%	
	英語教育	3		1				4		7	5	1	1	1	8	57.1%	50.0%	0.0%	0.0%	62.50%	
教科教育コース合計	50	30	6	13	10	1	6	1	2	73	53	6	14	13	89	94.5%	91.0%	56.6%	92.9%	59.55%	
合計	115	86	11	27	25	2	9	2	2	160	120	12	28	29	4	193	95.6%	94.3%	71.7%	96.4%	62.18%
昨年度	107	89	19	36	19	2	7	0	0	169	110	22	37	19	2	190	95.9%	96.3%	80.8%	97.3%	57.89%

*就職希望者に対する就職率の割合は全体で 95.6 % (前年 : 95.9 %)。

*教員就職 115 人のうち、正規採用者は 86 人 (71.7%)。 ⇨詳細は3) ①

*公務員・団体職員・一般企業等就職は 38 人 (卒業者の 19.7 %)。 ⇨詳細は3) ②

3) 令和3年度卒業生の就職先の詳細

① 教員採用状況（正規採用、臨時・非常勤別）

表2は、令和3年度卒業生の各コースの教員採用状況を示している。

【表2 令和3年度卒業生の各コースの教員採用状況】

コース	正規採用	臨時・非常勤	
小学校コース	北海道(小学校) 東京都(小学校) 島根県(小学校) 岡山県(小学校) 広島県(小学校) 山口県(小学校) 山口県(高等学校)	香川県(小学校) 高知県(小学校) 福岡県(小学校) 福岡県福岡市(小学校) 福岡県北九州市(小学校) 大分県(小学校)	岡山県(小学校) 広島県(小学校) 広島県(高等学校) 山口県(小学校) 徳島県(小学校) 附属光小学校
幼児教育コース	和歌山県田辺市(幼稚園) 広島県尾道市(幼稚園) 山口県周南市(幼稚園)	山口県山口市(幼稚園) 高知県高知市(幼稚園) 広島県私立幼稚園	
特別支援教育コース	鳥取県(特別支援学校) 広島県(特別支援学校) 山口県(小学校)	山口県(特別支援学校) 広島県広島市(特別支援学校)	
情報教育コース	広島県(中学校) 大阪府私立中学校・高等学校	福岡県(高等学校)	
教科教育コース	和歌山県(中学校) 広島県(小学校) 広島県(中学校) 山口県(小学校) 山口県(中学校) 山口県(高等学校) 福岡県(中学校) 佐賀県(小学校) 佐賀県(中学校)	広島県広島市(小学校) 広島県広島市(中学校) 山口県周南市(幼稚園) 福岡県福岡市(小学校) 福岡県福岡市(中学校) 福岡県北九州市(中学校) 兵庫県私立中学校・高等学校 広島県私立中学校・高等学校	三重県(高等学校) 兵庫県私立中学校・高等学校 岡山県(小学校) 岡山県私立中学校・高等学校 広島県(中学校) 広島県私立中学校・高等学校 山口県(中学校) 附属山口小学校 山口県(高等学校) 附属山口中学校 山口県(総合支援学校) 附属光中学校 福岡県福岡市(中学校)

② 公務員・団体職員・一般企業等就職先

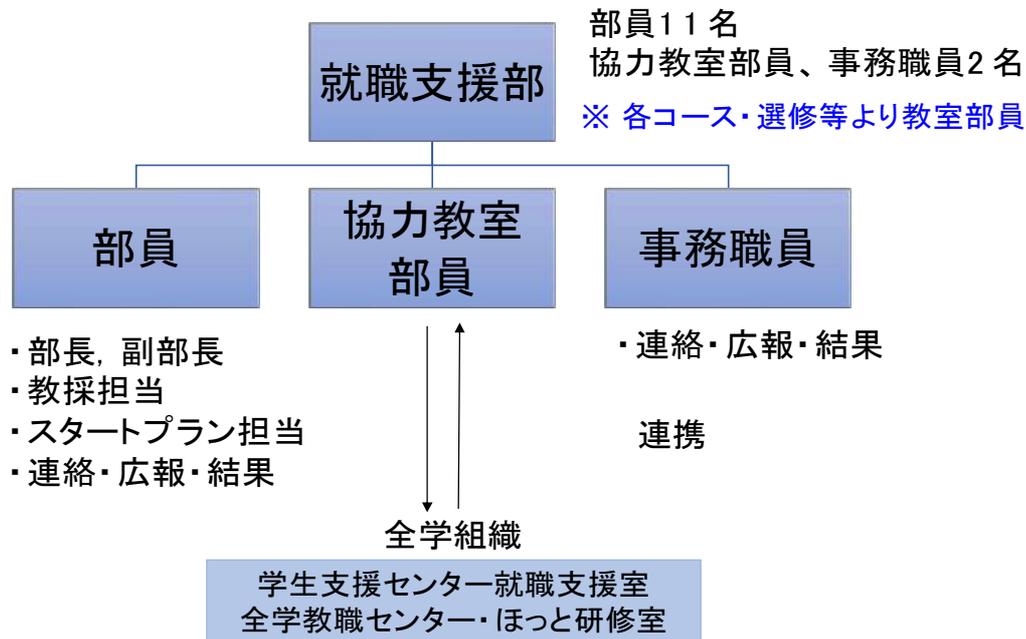
表3は、令和3年度卒業生の各コースの公務員・団体職員・一般企業就職状況を示している。

【表3 令和3年度卒業生の各コースの公務員・団体職員・一般企業就職状況】

コース	国・自治体・公共団体等	一般就職	
小学校コース	福岡県糸島市職員(市役所) NPO法人ダイバーシティ工房	(株)Bewin (有)米本工業 (株)常盤商会 楽天カード(株) 直方商工会議所 日本PCサービス(株)	(株)西京銀行 学校法人KTC学園 KTCおおぞら高等学院 菊池地域農業協同組合(JA菊池) 広島信用金庫 ELJソーラーコーポレーション(株)
幼児教育コース	広島県広島市職員(保育士) 山口県萩市職員(保育士)	(株)Share Clapping 社会福祉法人 中央正聖愛育会 こんごう保育園	
特別支援教育コース	(株)つくし 認定こども園つくし		
情報教育コース		(株)コア	
教科教育コース	広島県北広島町職員(町役場) 山口県警察 山口県宇部市職員(宇部市役所) 宇部・山陽小野田消防局 国立大学法人山口大学 NPO法人丸亀街づくり研究所	イオンモール(株) 社会福祉法人 青藍会 ハートハウス小郡南 (株)アサヒセキュリティ (株)ワールドインテック (株)AXIA (株)河合楽器製作所	(株)アデリー (株)熱き情熱コーポレーション (株)栄雄丸水産 (株)ダイキエンジニアリング (株)ユニステイ (株)ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本

2. 就職支援組織

就職支援部は、部員、各教室から選出される教室部員、特定の業務をおこなう協力員、就職担当事務職員から構成されます。全学組織と連携しながら、学生の就職を支援して参ります。



【図4 就職支援組織】

3. 就職支援活動

教育実習を終えた3年次後期から、就職支援活動が本格的に実施されます。

1) 就職支援対策講座

① 3年次後期（スタートプラン）

社会人心得、合格体験談、社会が求める人材、山口大学の就職支援
教採対策講演会、自己分析・自己PRの仕方、履歴書・志望動機の書き方
個人面接・集団討論、教職教養ポイント講座

② 4年次前期（教員採用試験対策講座）

総合対策、願書・自己PR添削、個人面接、集団討論、模擬授業

2) ほっと研修室（就職サポート）

就職準備を始めようとしている3年次学生や、就職活動をしている4年次学生に対して、
何から始めたらよいのか、自分の就職活動の何が不足しているのかなどについて、就職指導の
専門家が相談に乗ります。

3) 広報活動（修学支援システム・掲示板の活用）

採用試験情報等のポスターを掲示板に掲示するとともに、学生が利用する修学支援システムにて送付し、情報提供を行っています。

4) 就職情報室の管理・維持

「就職情報室」には求人票、教員・公務員・企業就職関係図書、各種問題集、教育新聞、企業名鑑、各企業や官公庁の資料などがあり、自由な閲覧が可能です。

また、「ラウンジ」にも、教員採用試験の過去問題集、教員採用試験関係図書などがあり、自由な閲覧が可能です。

学生支援に関わる最近のトピックス

1 様々な形で学校現場を実感できる機会を提供しています。

① 1年次から学校現場等における教職体験

1年前期の「教職キャリア形成Ⅰ」では、県内の小・中・高・特別支援学校を訪問し教育現場を体験することで、子ども・学校理解を深め、教職の魅力ややりがいを実感するとともに、教員業務を具体的に学んでいます。本年度は3年ぶりに再開でき、98校に分かれて教職体験を行いました。後期の「教職キャリア形成Ⅱ」では、各自が行った教職体験と学びを共有するとともに、学校教育の現状と課題、教員に求められる資質能力に関するグループ協議、全員発表会や実務家教員による講義演習等をとおして、キャリア形成に努めています。

② 教師力向上プログラム（教師塾）への参加

令和4年度、山口県教育委員会が行っている「山口県教師力向上プログラム」（学部3年生、大学院1年生の小学校志望者対象）を、8名が修了しました。本プログラム修了者は、山口県公立学校教員採用候補者選考試験において特別選考の対象となります。

③ ちゃぶ台プログラムへの参加

本学部独自の教員養成・研修事業「ちゃぶ台プログラム（ちゃぶ台方式による協働型教職研修）」は、自主的・自発的に参加する学生が、学校や地域で子どもたちと共に学ぶものや、多様な教育課題について現職教員と共に学ぶものを中心に、15の個別プログラムで展開されています。そのなかで、実践と省察の往還、経験の共有、相互のつながりづくりをとおして、教員としての指導力や資質能力を高めています。コロナ禍では、特に学校・地域派遣で我慢を強っていますが、学生たちは高い課題・目的意識をもち意欲的に取り組んでいます。

2 学生懇話会・院生懇話会

教育学部・教育学研究科では、学生懇話会・院生懇話会という、学部・研究科と学部学生・大学院生との連絡協議の場を設け、学生たちの要望を汲み上げながら、修学環境の改善に努めています。具体的には、年に数回、学部長をはじめとした学部・研究科の代表と学部学生・大学院生の代表が話し合う場を持っています。

令和4年度には、学生からの意見をもとに、キャンパスクリーン作戦への参加呼びかけ、駐輪場の柱にアルファベットを表示、傘立ての設置、空気入れの設置等を行いました。

3 成績表の年2回（5月および9月）の送付

平成25年度から保護者の皆様に「個別成績表」を年2回送付しております。修学状況の参考にいただければと考えます。

4 教員採用試験の受験と研究科に関する調査

平成25年度から、教員採用試験の合格率や受験率向上につながる大学や教員のあり方を探るために標記調査を実施しています。